

# 伝えよう平和への願い

昭和20年8月15日、日本の敗戦。わたしたち日本国民は、戦争の悲劇を忘れることなく、これを二度と繰り返すまいと、この日を「終戦記念日」と定めました。成田市では、核兵器の廃絶や恒久平和を願い「非核平和都市宣言」・「世界連邦平和都市宣言」の2つの平和都市宣言を行っています。



## 成田市は平和都市宣言のまち

日本国民は、8月15日を「終戦記念日」と定め、戦争の悲劇を忘れることなく、これを二度と繰り返すまいと固く誓いました。

わが国は世界で唯一の核被爆国です。昭和20年8月に広島・長崎へ投下された原子爆弾は、一瞬にして20万以上の人命を奪い去りました。終戦から64年、原爆被爆から64年になる現在も、核兵器の保有を続ける国があるだけでなく、核兵器の保有を目指す国が出現するなど、世界の多くの人々が求める核兵器廃絶への道のりは、依然として険しいと言わざるを得ません。

成田市は、国是である非核三原則（日本は核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず）が完全実施されることを願い、全世界の人々とともに、核兵器の廃絶、恒久平和確立のため、平成7年2月21日に「非核平和都市」を宣言しました。また、自ら永遠の平和都市となることを誓い、昭和33年10



## 「広島・長崎被爆写真展」

平和の尊さと核兵器の廃絶をテーマに、原子爆弾投下直後の広島・長崎の惨状を記録した写真パネルを展示します。

今年は市民の皆さんから寄せられた折り鶴の展示も合わせて行います。

期間＝8月4日(火)～17日(月)(折り鶴の展示は3日(月)～7日(金))

### 会場と時間

○市役所ロビー…午前8時30分～午後5時

○大栄公民館…午前9時～午後9時

※パネルの貸し出しも行っていきます。くわしくは広報課国際交流室(☎20-1503)へ。

## 「星空映画会」

日時＝8月29日(土) 午後5時～9時(上映は6時40分から)

会場＝赤坂公園芝生広場(雨天のときは西中学校体育館)

上映作品＝「トビウオのぼうややびょうきです」、「WALL・E(ウォーリー)」

参加費＝無料

※車で来場する人は、中台小学校または後谷津公園の駐車場を利用してください。くわしくは市青少年相談員連絡協議会ニュータウン地区・石井さん(☎090-2935-1640)へ。



広島・御幸橋  
(展示パネルより)

黒煙と猛火の中から、ぼろぼろになって、皮膚がたれさがった人々が逃れてくる。歩けなくなった負傷者が座り込み、横になって橋のたもとをうめていった。一人の母親が死んだ子どもを抱え「目をあけて、目をあけて」とつぶやいていた(写真中央の髪を後ろに束ねた女性)。爆心地から南寄り2.2キロメートル。(撮影：村重美人)

月31日に「世界連邦平和都市」の宣言もしています。

終戦記念日の8月15日を「平和を誓う記念日」として、わたしたちの心にとどめ、あらためて平和の大切さを考え、戦争の恐ろしさ・悲惨さを次の世代に伝えて行きましょう。

### 平和への祈りをく千羽鶴平和プロジェクト

平和のシンボル・折り鶴を広島・長崎に―市では、市民が手作りの折り鶴を広島・長崎に届ける「千羽鶴平和プロジェクト」を実施しています。これは、今年3月の「平和市長会議」への加盟をきっかけに、新たな平和啓発活動として取り組んでいるものです。

広島平和記念公園や長崎折り鶴の塔には、国内外から寄せられた色とりどりの千羽鶴が飾られています。

折り鶴が平和の象徴とされているのは、被爆した少女が回復を願って亡くなるまで鶴を折り続けたというエピソードに由来しています。彼女の話は世界中に広がり、今も国内をはじめ世界各国から平和を願う折り鶴がささげられ、その数は年間1千万羽以上に上ります。

約2カ月にわたり市民の皆さんから寄せられた折り鶴は、5万羽を超える数に達しました。折り鶴は50人ほどのボランティアの手によって千羽鶴に束ねられ、市役所などで展示された後、終戦記念日に合わせて広島・長崎に届けられます。

市民一人一人の平和への祈り。それは千羽鶴となって、世界中の人たちの思いとともにささげられるのです。

※くわしくは広報課国際交流室(☎20-1503)へ。